　給食調理場にエアコンを設置するなど、労働環境の改善に関する項目

府立支援学校の給食調理場の施設整備については、毎年実施している各学校への巡回指導の際や、学校からの要望に基づき、衛生面での必要性などを考慮し、緊急性の高いものから順次、改修等を実施しているところ。

　府の財政状況は依然として厳しい状況ですが、学校給食の円滑な運営が行われるよう、関係課とも協議を行いながら、環境整備の充実に努めていきたい。

老朽化している校舎の安全対策に関する項目

施設・設備の改修については、毎年、学校から提出される「施設整備計画」に基づいて、学校と協議しながら計画的に進めている。

特に緊急性の高いものについては学校からの要望により現地調査等を行うなど、今後とも迅速な対応に努めていく。

なお、今後の府立学校の老朽化対策については、平成２７年度に大阪府全体での「公共施設等総合管理計画」を策定予定としており、これを踏まえて校舎改築と大規模改修による長寿命化を組み合わせた府立学校の施設改修計画を作成し、これを基に老朽化対策を実施していきたい。

エレベータが使用できない事などによって生じている負担に関する項目

交野支援学校四條畷校については、開校前に消防法に適合する必要な安全対策を講じた上改修工事を実施するとともに、学校からの要望をもとに教育活動に必要な教室の整備に努めているところ。

施設設備の整備については、引き続き学校からの要望や生徒の実態を踏まえ関係課とも連携し、必要な対応をしていく。

特別教室等の改修やエアコンを設置するなど、職場環境の改善に関する項目

施設・設備の改修については、毎年、学校から提出される「施設整備計画」に基づいて、学校と協議しながら計画的に進めている。

特に緊急性の高いものについては学校からの要望により現地調査等を行うなど、今後とも迅速な対応に努めている。

支援学校の過密化による業務負担に関する項目

守口支援学校の児童生徒増加に対応するため、平成23年度に通学区域割りを変更し、門真市から守口支援学校高等部への進学を希望する生徒を学年進行で寝屋川支援学校高等部に移行することで対応している。

守口支援学校の肢体不自由児童・生徒の緊急時の避難については、消防署と相談のうえ、火災の場合には、火災が発生していない棟のエレベーターにて避難し、地震等でエレベーターが動かない場合やエレベーターの使用が危険と判断される場合は、安全確認のうえ、購入済みの簡易担架により搬送することで対応すると聞いている。

老朽化している設備を改修するなど、安全確保に関する項目

施設・設備の改修については、毎年、学校から提出される「施設整備計画」に基づいて、学校と協議しながら計画的に進めている。

特に緊急性の高いものについては学校からの要望により現地調査等を行うなど、今後とも迅速な対応に努めている。

なお、中津支援学校の多目的ホールの電動ステージについては、学校と調整を進めた結果、学校において保守点検を行っている。

聴覚支援学校の通級指導に係る業務の負担軽減に関する項目

府内の小中学校の支援学級の障がい種別設置が進み、難聴学級の希望者が増えています。

府単独での教員の配置は難しく、国加配の活用が基本となることから、小中学校の通級指導や聴覚支援学校の実状について、機会あるごとに国に働きかけていく。

予想されるバスチャーター費の増額による業務量増加に関する項目

平成２７年度の予算要求にあたり、各校に平成２７年度の旅費の執行計画の調査を行いその必要額の把握に努めたところ。

その中には、今回のバスチャーター費の上昇分も考慮にいれており、学校行事に支障をきたさないよう旅費配当を行う予定。

設備整備など、業務の効率化に関する項目

聴覚支援学校の文字情報システムについては、現在、だいせん聴覚高等支援学校に整備されていますが、災害時の安全対策や授業での活用に非常に効果が高いと認識している。

この文字情報システムの更新時期をとらえて、堺聴覚支援学校、生野聴覚支援学校を含む３校に整備できるよう予算要求しているところ。

その他の設備・整備についても、学校から状況をお聞きし、適切に対応していく。